

2022年7月度 普及度調査まとめ

本調査は、chemSHERPAユーザーが他の様式を使っている状況を把握するためのアンケート調査です。様式の利用状況（動向）を把握するため、6か月おきに実施する予定です。
この結果は、公開するとともに、委員会活動の参考資料とさせていただきます。

2022年9月
アーティクルマネジメント推進協議会（JAMP）
普及委員会

1

アンケート概要と回答者の分布

前回と傾向は変わらず

1. アンケート期間

2022年7月26日～8月5日

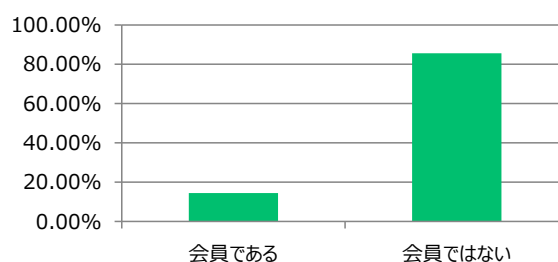
2. アンケート送付先

JAMP会員、委員、
chemSHERPAダウンロードユーザー（直近1年間）
約5万名

3. 有効回答数

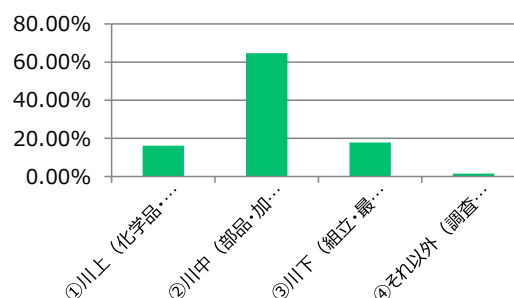
3,172件（前回3,409件）

御社がアーティクルマネジメント推進協議会（JAMP）会員か、会員でないか、を選択下さい。[必須回答項目]

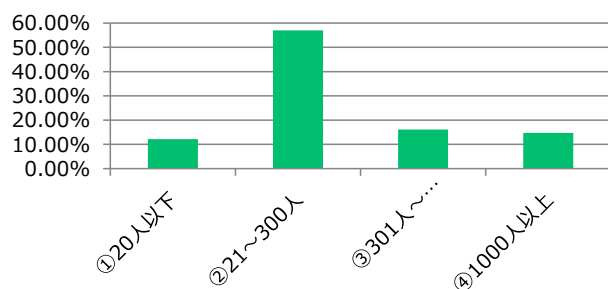


JAMP会員は15%程度

以下の分類にあなたの会社(工場)を当てはめるとき、最も適切と思われるものを選択してください。



あなたの会社の従業員数をお答えください。[必須回答項目]



300人以下の企業が7割を占める

川中企業が6割を占める

2

目次

1. 様式の普及度調査
2. 製品名・部品名の半角英数化対策
3. 個社様式削減事例紹介ページについて
4. 規制候補物質の収載（暫定策）について
5. リサイクル材の使用状況について
6. 自由意見

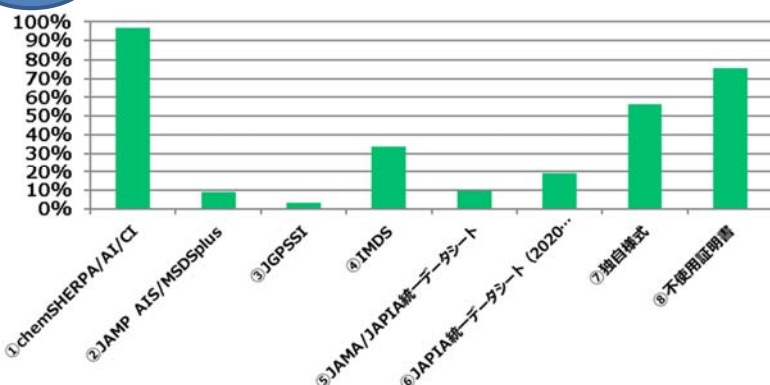
1. 様式の普及度調査

6カ月ごとの定点観測を実施しています。
（2022年1月度との比較を実施）

川上・川中企業が依頼されている様式（現状） 前回と傾向は変わらず

2021年
1月

川上・川中企業にお伺いします。現在、顧客（川下企業）から依頼されている様式は、どれですか？（複数選択可）



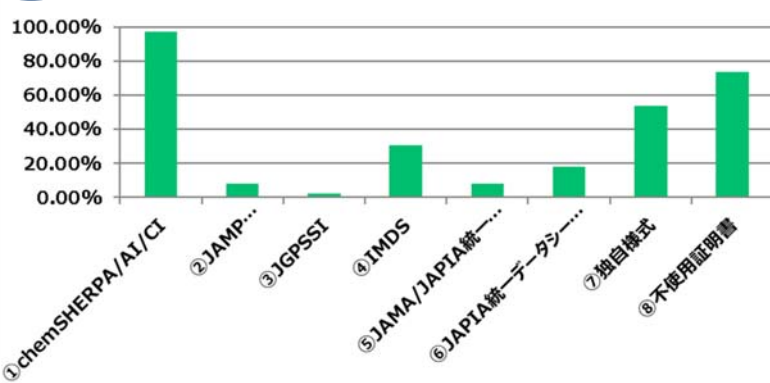
Answer Choices	Responses	
①chemSHERPA/AI/CI	96.92%	2836
②JAMP AIS/MSDSplus	8.82%	258
③JGPSSI	3.18%	93
④IMDS	33.83%	990
⑤JAMA/JAPIA統一データシート	9.60%	281
⑥JAPIA統一データシート (2020年10月~)	19.34%	566
⑦独自様式	56.43%	1651
⑧不使用証明書	75.77%	2217
Answered		2926
Skipped		483

・2%以上の増減 IMDS (+3%増)

・JAPIA、独自様式、不使用証明書は微増

2022年
7月

川上・川中企業にお伺いします。現在、顧客（川下企業）から依頼されている様式は、どれですか？（複数選択可）



Answer Choices	Responses	
①chemSHERPA/AI/CI	97.28%	2615
②JAMP AIS/MSDSplus	8.04%	216
③JGPSSI	2.34%	63
④IMDS	30.43%	818
⑤JAMA/JAPIA統一データシート	7.85%	211
⑥JAPIA統一データシート (2020年10月~)	18.12%	487
⑦独自様式	53.65%	1442
⑧不使用証明書	73.85%	1985
Answered		2688
Skipped		484

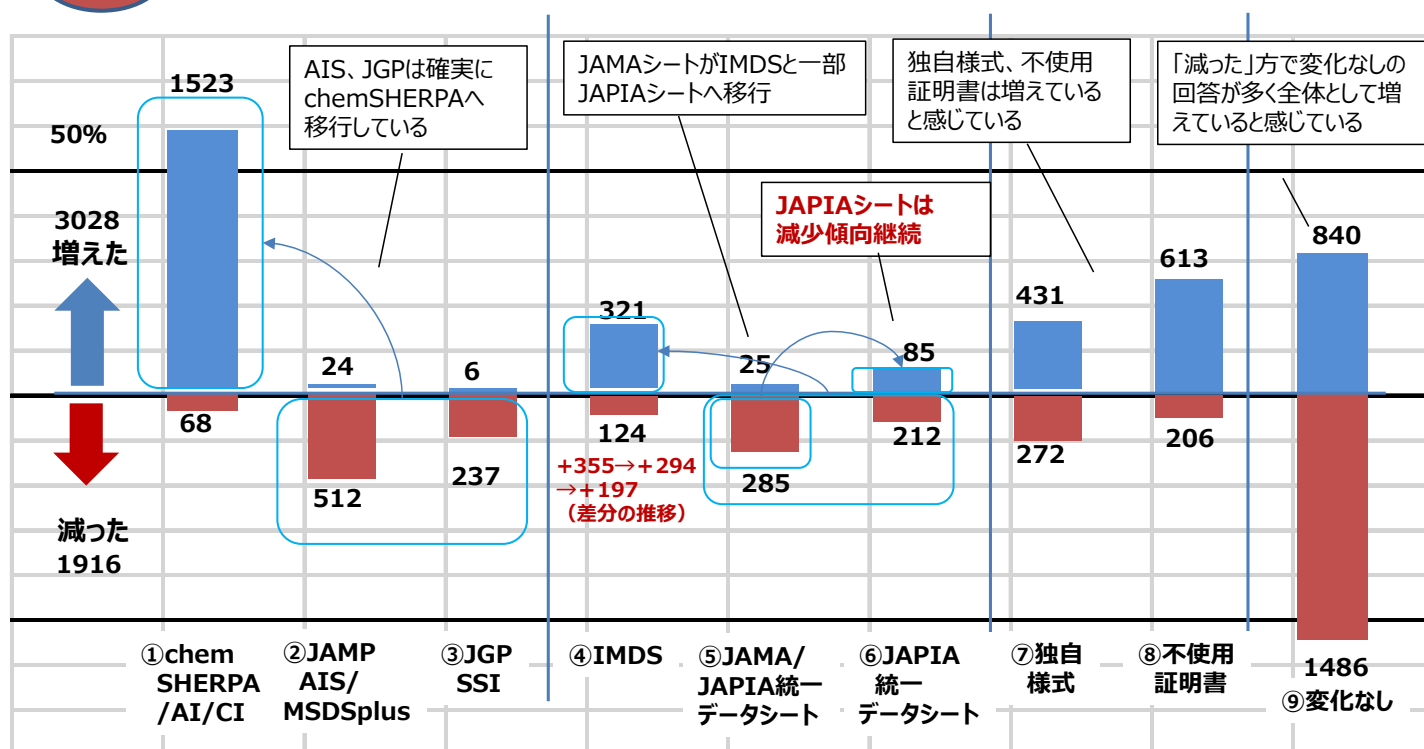
・2%以上の増減 IMDS (▲3%増)

・JAPIAシート関連は微減

5

川上・川中企業が依頼されている様式の変化（1年前に比べて増えたか、減ったか） 前回と傾向は変わらず

2022年
7月



- ①IMDSは増加傾向は続く。JAPIAシートは、引き続き減少傾向に
- ②独自様式、不使用証明書は引き続き増加傾向にある

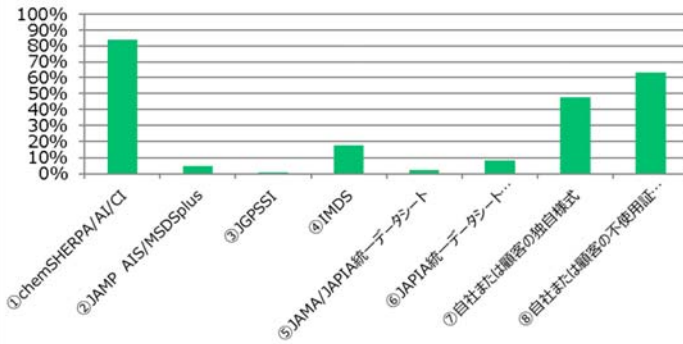
6

川中・川下企業が依頼している様式（現状）

前回と傾向は変わらず

2022年
1月

川中・川下企業にお伺いします。現在、取引先へ依頼している様式は、どれですか？（複数選択可）

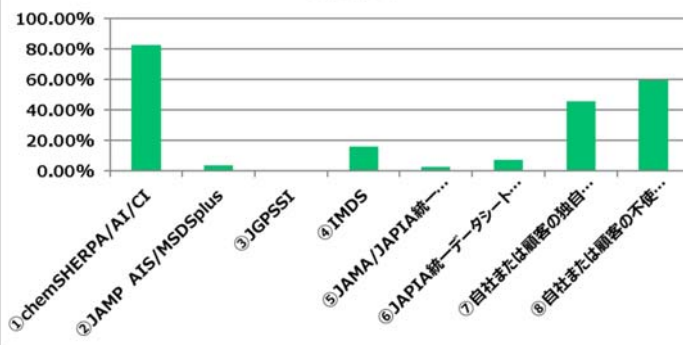


Answer Choices	Responses	
①chemSHERPA/AI/CI	83.65%	2363
②JAMP AIS/MSDSplus	4.64%	131
③JGPSSI	0.67%	19
④IMDS	17.56%	496
⑤JAMA/JAPIA統一データシート	2.55%	72
⑥JAPIA統一データシート（2020年10月）	8.50%	240
⑦自社または顧客の独自様式	47.72%	1348
⑧自社または顧客の不使用証明書	63.12%	1783
Answered		2825
Skipped		584

- ・2%以上の増減 chemSHERPA (+2%) IMDS (+3%) 独自様式 (+2%)、不使用証明書 (+2%)
- ・JAPIAシート微増

2021年
7月

川中・川下企業にお伺いします。現在、取引先へ依頼している様式は、どれですか？（複数選択可）



Answer Choices	Responses	
①chemSHERPA/AI/CI	82.67%	2166
②JAMP AIS/MSDSplus	3.97%	104
③JGPSSI	0.65%	17
④IMDS	15.95%	418
⑤JAMA/JAPIA統一データシート	2.82%	74
⑥JAPIA統一データシート（2020年10月）	7.40%	194
⑦自社または顧客の独自様式	45.61%	1195
⑧自社または顧客の不使用証明書	59.54%	1560
Answered		2620
Skipped		552

- ・2%以上の増減 独自様式 (▲2%)、不使用証明書 (▲3%)
- ・依頼側は個社様式を抑制する方向が。

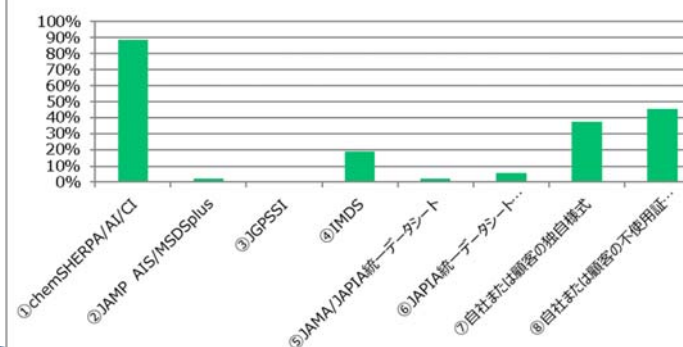
7

川中・川下企業が将来活用する様式（自動車互換となった場合）

前回と傾向は変わらず

2022年
1月

川中・川下企業にお伺いします。将来chemSHERPAが国際標準の自動車互換様式に対応した場合、取引先へ依頼する様式はどれですか？（複数選択可）

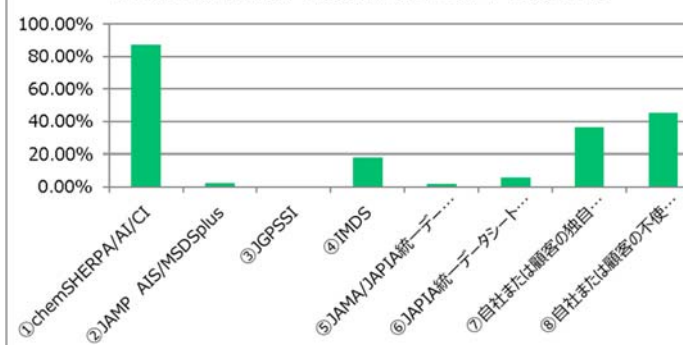


Answer Choices	Responses	
①chemSHERPA/AI/CI	88.37%	2409
②JAMP AIS/MSDSplus	2.38%	65
③JGPSSI	0.33%	9
④IMDS	18.71%	510
⑤JAMA/JAPIA統一データシート	2.24%	61
⑥JAPIA統一データシート（2020年10月）	5.80%	158
⑦自社または顧客の独自様式	37.12%	1012
⑧自社または顧客の不使用証明書	45.52%	1241
Answered		2726
Skipped		683

- ・大きな傾向は変わらずだが、前回と比較して、JAPIA、独自様式、不使用証明書が若干減っている（chemSHERPAの取り組みが理解されてきたか？）

2021年
7月

川中・川下企業にお伺いします。将来chemSHERPAが国際標準の自動車互換様式に対応した場合、取引先へ依頼する様式はどれですか？（複数選択可）



Answer Choices	Responses	
①chemSHERPA/AI/CI	87.45%	2201
②JAMP AIS/MSDSplus	2.58%	65
③JGPSSI	0.40%	10
④IMDS	18.16%	457
⑤JAMA/JAPIA統一データシート	2.11%	53
⑥JAPIA統一データシート（2020年10月）	6.12%	154
⑦自社または顧客の独自様式	36.39%	916
⑧自社または顧客の不使用証明書	45.17%	1137
Answered		2517
Skipped		655

- ・大きな傾向は変わらずだが、前回と比較して、独自様式、不使用証明書が若干減っている（chemSHERPAの取り組みが理解されてきたか？）

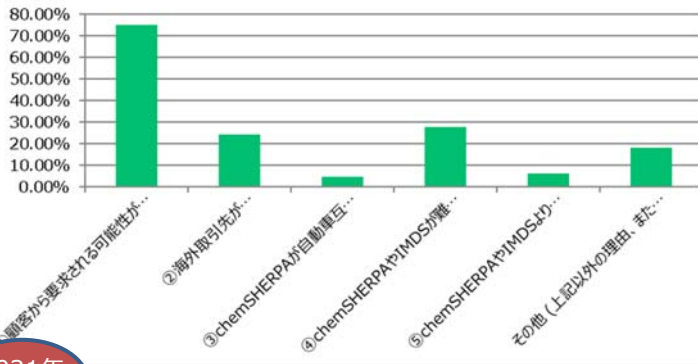
8

川中・川下企業 chemSHERPA/IMDS以外が残る理由 (自動車互換となった場合)

前回と傾向は変わらず

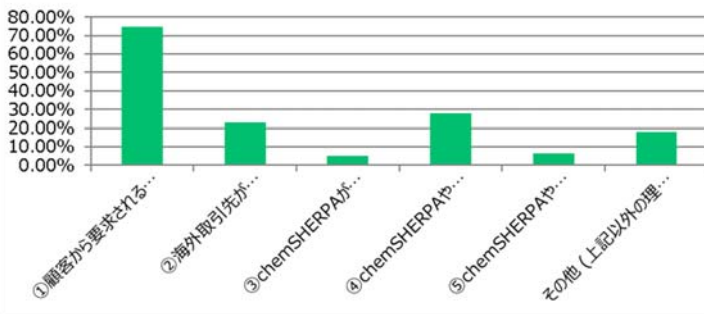
2022年
1月

上記でchemSHERPA、IMDS以外の様式が残ると回答された方（①④以外にチェックされた方）、その理由をお教えください。（複数選択可）



2021年
7月

上記でchemSHERPA、IMDS以外の様式が残ると回答された方（①④以外にチェックされた方）、その理由をお教えください。（複数選択可）



その他の意見として、chemSHERPAの規制物質収載タイミングが遅く、不使用証明書での調査が発生している（25件）、chemSHERPAに未掲載の物質調査が必要（42件）があります。

その他の意見として、chemSHERPAの規制物質収載タイミングが遅く、不使用証明書での調査が発生している（36件）、chemSHERPAに未掲載の物質調査が必要（64件）と各件数が前回より増えています。（次ページに意見紹介）

9

川中・川下企業 chemSHERPA/IMDS以外が残る理由 (自動車互換となった場合)

残る理由のコメント分析（トップ5とピックアップ）

	主な意見集約（回答数 278）	件数
1	chemSHERPA、IMDS以外の管理物質、顧客指定物質が存在する	64
1	chemSHERPAやIMDSが難しい。回答取得に時間がかかる。海外取引先から入手できない。	64
3	客先の動向次第	43
4	chemSHERPAの物質収載タイミングが遅い	36
5	chemSHERPAでは証明にならず、裏付けが必要	27

ピックアップコメント（抜粋あり、原文のまま）

弊社はchemSHERPAを以って不使用を保証するという考えを持ち合わせておりません。chemSHERPAはあくまで情報を伝達するツールであり、保証する内容では無い為、弊社様式の不使用保証書は必須となります。また、SVHCが更新された後にchemSHERPAのVer.が更新される間ひと月ほどの期間があることや、chemSHERPAに対応できない企業（海外メーカーや小企業など）があることから、代替資料は必要と考えます。

日本語があつてようやくとサプライヤに対応をお願いできる状態、町工場に英語で書かせることになったら調査が成り立たない（無視される）

chemSHERPAは保証ではないという考え方(JAMP様)なので、顧客要求によっては保証書・証明書を取得するケースがあります。

ポリオレフィン業界に共通で使用できる不使用証明書があり、そちらが便利なため。

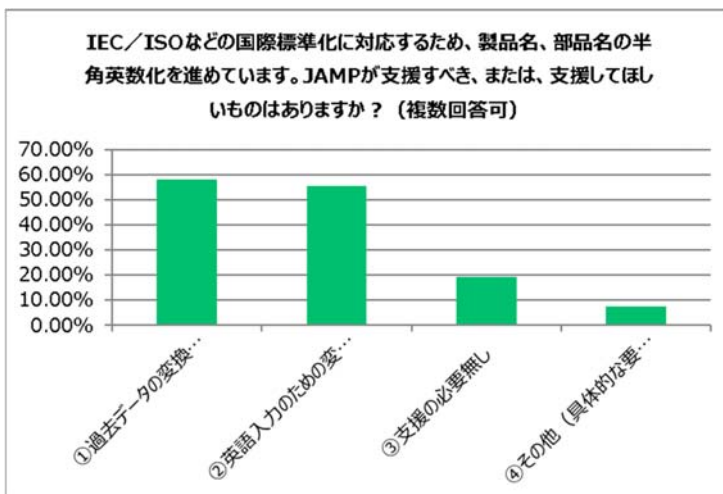
※) chemSHERPAとしての保証としての考え方については、別途、整理する予定です。

2. 製品名・部品名の半角英数化対策

chemSHERPA-AIでの製品名・部品名への半角英数化に対し、
 ・過去データの変換ツール
 ・変換ガイド
 を求める声は多い。

11

製品名・部品名の半角英数化への支援策について



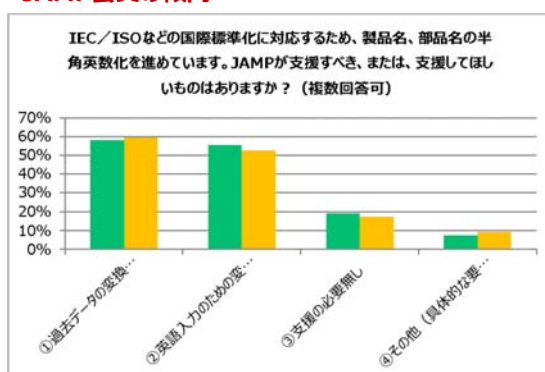
Answer Choices		Responses	
①過去データの変換（翻訳）ツールの提供		58.06%	1721
②英語入力のための変換ガイドラインの提供		55.53%	1646
③支援の必要無し		19.23%	570
④その他（具体的な要望）		7.39%	219
Answered			2964
Skipped			208

約半数が、翻訳ツールと変換ガイドの提供を求めている

その他要望（回答数 219）		件数
1	日本語が併記できるようにしてほしい	18
1	ツールの機能で自動翻訳してほしい	18
3	とにかく半角英数化には反対	15
4	英訳の例文集が欲しい	14
5	川下企業から日本語の製品名で依頼される	12
6	セミナーや講習会の開催	8
7	ローマ字表記の許容	5

※）本題とは無関係の回答が116件あり

JAMP会員の傾向



オレンジはJAMP会員
 やや翻訳ツールニーズ
 が高い

12

製品名・部品名の半角英数化への支援策について

ピックアップコメント（抜粋あり、原文のまま）
「chemSHERPA利用ルール」の英文版、中文版の充実をお願いしたいです。顧客なので社名は伏せますが、利用ルールに反した要求を何度も繰り返す（要求拒否しない相手には独自ルールで要請する様に内部で指示している）悪質な企業も有ります。
海外顧客メーカーにChemsherpaを説明する際にどの資料が使えるか明示してほしい。現在内容を見ながら英文表記の物を集めて紹介しています。
調査依頼があるもので、客先から提示される製品名が和名のものが少なくない。一般的なものであれば英訳も可能だが、和名→単純な英訳では顧客の意図などとの差異が生じるのではないかと懸念されるものもある。基本的には、社内での英訳ではなく、客先へ英訳を依頼しているが、依頼が難しい場合など、依頼側が了承すれば和名での入力が可能などの逃げ道があると助かると思う。
日本語の部品を英語に訳すべきなのか、ローマ字表記にすればよいだけのか、曖昧なので、詳しく解説してほしい。弊社では現在は、顧客と合意の上、ローマ字表記にすることで済ませているものもあります。（例：円筒→entou）正直このルールの方が手間が省けて助かります。
名称に全角の「・」を使用した製品があります。この場合の対応策を支援していただきたい。
chemSHERPAを依頼する側のエラーチェック強化。顧客より未だ日本語で品名が記載されてきます。依頼側も半角英数字で入力必須にしてほしいです。
和名商標しが無い製品名を無理にローマ字化すると海外商標に抵触するリスクがあるので、商標に対しても配慮してほしい
客先の設定した製品名や部品名が日本語の場合も多く、入力することが出来なくなってしまうので半角英数のみの入力は出来ればやめてほしいです。
ケムシェルパのバージョンアップの頻度が激しく、そのたびに最新の取り込みや提出を迫られて仕事にならない。
日本語の漢字を半角英数に出来る事。日本の企業の一般は部品名称、製品名称は日本語である場合が多いため、翻訳する作業が発生している事で工数が増えている、余程の大きな企業でなければ有害物質管理に十分に人的資本を費やすことは難しいため、中小企業は苦心している部分。
改善として頻繁に様式変更を繰り返されているが、それへの対応を求められる側の負担を考えて欲しい。 中身が変わらなくとも書式が変わるだけで、板挟みとなる川中は川上への要求と川下への回答と両方の更新を求められる為、修正が繰り返さず済むような支援をして欲しい。
半角英数字で顧客品名を特定できるようにする仕組み（顧客品名が日本語のため、半角英数字では表現すると特定できなくなる。）
バージョンアップ一括でできるようにしてほしい。現状何百もの製品をひとつづつ更新するのが大変時間がかかる。
電子部品、素材他のデータベース化。川上・川中企業の情報のデータベース化。それを閲覧できる体制づくり
一般材料を公開データとして登録閲覧可能とする。
全角スペースを使用しているエラーは発見が困難な為、機械的に処理をして欲しいです。

- ① chemSHERPA「利用ルール」などの英語・中国語版、海外メーカーへの提示資料の明確化
- ② 顧客が日本語製品名を使う場合の問題
- ③ chemSHERPAのバージョンアップ頻度の苦情、過去製品の一括バージョンアップ機能の提供
- ④ 検出しにくい全角文字「・」やスペースの自動置換
- ⑤ 電子部品、素材のデータベース化

13

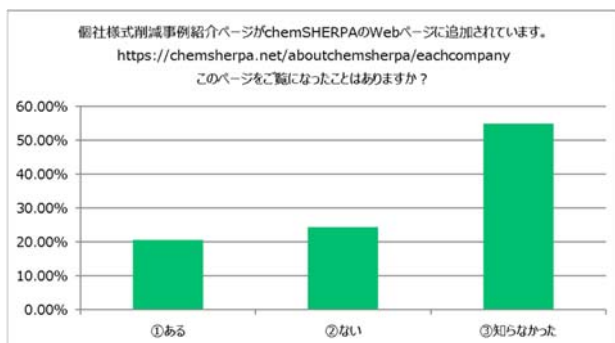
3. 個社様式削減事例紹介ページについて

個社様式削減事例ページについて、6割が知らなかったと回答。
実際に見た結果、有益は5割、どちらとも言えないが4割。

14

個社様式削減事例紹介ページの閲覧について

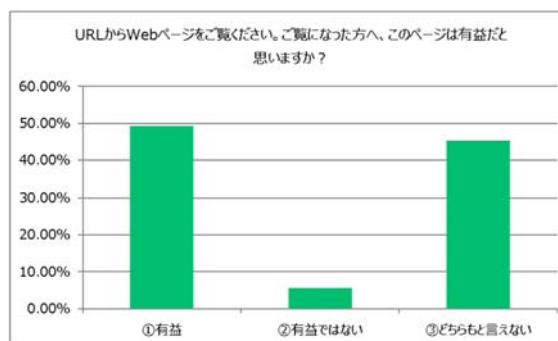
ページを閲覧したことはあるか？



Answer Choices	Responses
①ある	20.69% 644
②ない	24.32% 757
③知らなかった	55.00% 1712
Answered	3113
Skipped	59

閲覧率
20%にとどまる

ページを見て有益と思うか？



Answer Choices	Responses
①有益	49.16% 1468
②有益ではない	5.59% 167
③どちらとも言えない	45.24% 1351
Answered	2986
Skipped	186

閲覧した人の半分は有益、
半分はどちらとも言えない、
との回答。無益は6%程度。

有益と回答した その理由 (260件)	件数
調査の負荷が低減できる	67
説明が分かり易い	41
chemSHERPAに関する情報入手ができる	39
他社動向がわかる	33
社内関係者/取引先への説明に使える	22
その他	58

どちらとも
言えない
と回答した
理由は
次ページへ
(429件)

有益でないと回答した その理由 (99件)	件数
顧客要求の為個別様式を無くせない	29
事例が少ない	19
ページ内容が分かりづらい	13
規制物質が企業間で異なる	6
当該ページにたどり着けない	6
その他	27

15

個社様式削減事例紹介ページの閲覧について

	どちらとも言えないと回答した その理由 (429件)	件数
1	顧客要求のため、川下企業が変わらないと削減できない	115
2	事例が少ないので、まだ判断できない	51
3	参考程度にはなるが有益かは不明	41
4	内容がわかりづらい	39
5	chemSHERPAが難しいなどの理由で取引先から入手できないケースで不使用証明が必要	34
6	ページに到達できない、周知やみやすさが不足	27
7	chemSHERPAに無い物質、各社固有の物質があるので無くならない	21
	その他 (海外での調査6、わからない、個社様式必要など)	112

ピックアップコメント (抜粋あり、原文のまま)

現状の自部門においては第一にIMDS、第二にJAPIAシートであり、ChemSHERPAでは成分情報が開示されないため全く役に立たず、かといって自社独自様式はJAPIAさんから禁止されているため。

chemSHERPAツールの有用性や性質は理解しておりますが、運用までには至れておりません。 各種・各社の電子部材を、多品種集めて製品化しておりますが、chemSHERPAツールで取り纏める方法や参考例が、無償で公開されていない様で、運用に至れておりません。

次々と規制対象物質が追加されていくため、「報告対象以外の物質」データを予め収集しようと、独自様式を展開されるため。

記載の内容に合った対応を世の中的に広げていただける制度がないと変わらない

独自書式の利用を「必要悪」的に認めているように見えなくもないから

最近では顧客から独自フォーマットでの依頼が減っているが、自社から川中、川上へはRoHS指令規制物質の不使用証明書を省略する管理体制の構築が出来ずにいるので、直接参考にならない。chemSHERPAへ一本化するための取引契約などを含めた管理体制作りの資料が欲しい。

16

個社様式削減に関する意見（回答数 426件）

個社様式削減について、ご意見があればお願いします。

個社様式削減に対するコメントは以下の通り。川下企業に対する働きかけを望む声が多い。

削減を推進すべきという立場のコメント		件数	削減はできないという立場のコメント		件数
1	個社様式は負担が大きい、削減を進めるべき	105	3	様式の統一には限界がある、個社様式は残る	55
2	顧客や川下企業に一層の働きかけを望む	100			
4	入手スピード向上、chemSHRPA様式の簡略化を望む	31			
5	法令・物質の拡大、自動車業界対応	28			
6	国の指導や義務化が必要	20	7	確認として個社様式は必要	15
7	中小企業への教育、周知が必要	7			

相変わらず物質の収載タイミングを課題にする声がある。また、各社のグリーン調達ガイドラインの差を指摘する声もある。海外の顧客やサプライヤにchemSHERPA認知されていないとの声もあり。

個社様式削減については、理念は期待されている一方、chemSHERPAで回答が得られないためやむを得ない、顧客の全ての管理対象物質を組み込むと、さらに回答スピードが遅くなる、など、「必要悪」を指摘する声がある。また、相変わらず、chemSHERPAは確認にならないという声もある。

17

個社様式削減に関する意見（回答数 426件）

個社様式削減について、ご意見があればお願いします。

ピックアップコメント（抜粋あり、原文のまま）	
chemSHERPA-CI からchemSHERPA-AI への変換ができるようになれば個社様式の削減も進むと思います。	
個社様式が増えたと書きましたが、PFHxSの経産省調査となります。これを利用しPFCA調査も増えました。POPs追加を見据えた経産省の書式なら、chemSHERPAに収載し、ツール利用することも可能だったのではないのでしょうか。	
統一できる書式、またはchemSHERPA掲載物質一覧と個社様式記載物質の比較ができる資料が欲しい。時々、管理値が極端に制限されている場合があります。	
ユーザー毎の個別のガイドラインや物質リストがchemSHERPAの収載物質で網羅されているかが確認出来ない。	
個社書式にchemSHERPA記載内容を重複して記載させる要求が、たまにあります。chemSHERPA報告内容を、個社書式に転記して、chemSHERPAの範囲外の自社要求も転記させる内容です。この運用を制限するようなガイドラインを浸透させられないでしょうか。パートナーシップの文書はありますが、あまり守られていません。	
JAMPは、JAMPで役員を担当しているまたは担当していた企業で個社様式を採用している企業に対して削減するよう提言してくべきだと思います。JAMPで役員をする会社はJAMPの方針に賛同しているはずです。	
JAMP非会員企業を含めた全てに個社様式の削減を働きかけられれば理想とは思いますが、現実的には難しいかと思います。まずはJAMP会員企業で川下側に属している企業への個社様式削減を働きかけて頂けないでしょうか。（JAMP会員企業で取引のある川下企業からも個社様式での依頼があるため。）	
当社の範疇でいえば、繊維業界も含めてもらえれば、chemSHERPAの利用頻度は上がると思います。	
法規制定前の物質に関する含有調査はGADSL追加後に開始する、業界標準のIMDS・JAPIAシートまたはchemSHERPAに統一する、等を業界合意し統一した方針を作成し公開し、部品メーカーはそれを理由に調査回答を断れる仕組みを構築する。	

サプライチェーン川上へのchemSHERPA浸透度がまだ低い。自動車「全成分」対応を行うことで、chemSHERPA活用度が上がることを期待。

18

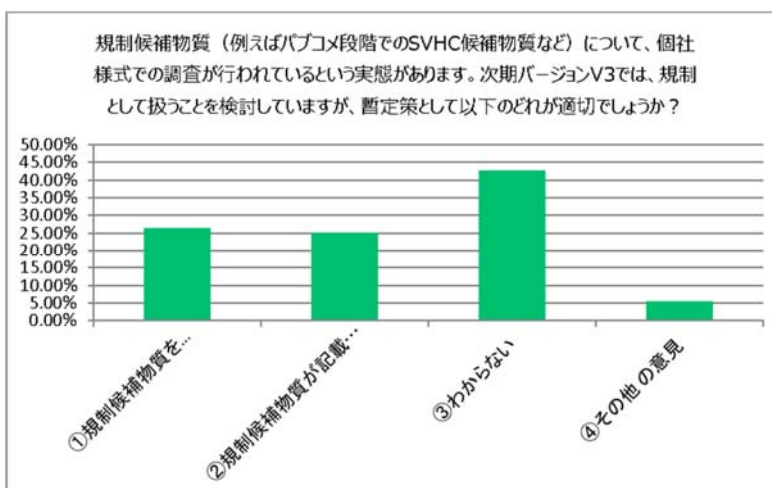
4. 規制候補物質の収載（暫定策）について

V3では規制候補物質を規制欄に追加する予定だが、それまでの暫定策について問う。
任意報告で良い、専用EXCELが必要、がほぼ同率。
さらに「わからない」が半数を占める。

19

候補物質の収載への暫定策はどれが適切か

①任意報告案 ②専用EXCEL案 のどちらが良いかを問う質問



Answer Choices		Responses	
①規制候補物質をchemSHERPAホームページで公開し、成分情報の任意報告物質で報告してもらう		26.57%	815
②規制候補物質が記載された専用EXCEL帳票をchemSHERPAホームページで公開し、利用してもらう		25.11%	770
③わからない		42.88%	1315
④その他の意見		5.45%	167
		Answered	3067
		Skipped	105

その他要望（回答数 167）		件数
1	候補物質には対応しない、すべきでない	39
2	フラグ等で候補物質と分かるようにする	15
3	任意報告ではなく必須報告にする	7
4	候補物質はどの法規が対象か	6
5	帳票・工数が増えるだけ	5

①任意報告案（現在のJAMP方針） と ②専用EXCEL案 は、25%程度で 同等の結果。（やや①が多い）
わからない、が40%程度あり、課題の難しさがうかがえる。
また、その他意見では、「そもそも候補物質調査には対応しない、すべきでない」の意見が多い。

暫定策としての現在のJAMP方針から変更するだけのニーズは無かったと判断。

20

候補物質の収載への暫定策はどれが適切か

ピックアップコメント（抜粋あり、原文のまま） 回答数 167

REACHは「情報があれば伝達」が原則ですし、SVHC候補段階では、市中に含有情報がまだ流れていないことが大半なので、**自社が既に使用を把握している場合を除き、候補段階での積極調査はしない方針**で考えています。

上記①が基本であるものの、未回答なのか含有無しなのかを判断できるすべがない

対応案 a：含有量“ゼロ”を入力できるようにする 対応案 b：SVHC候補物質確認あるなしのチェックボックスを設ける

パブコメ段階の候補物質については、比較的**大手の川下企業より規制前調査として調査依頼される場合が最近多い**と感じる。成形品を扱うサプライヤでは原材料まで遡る調査となり、法規制前を理由に情報拒絶の場合も多く、また対象物質の用途例の資料提供も乏しい中で、その調査は困難と言える。その様なものについて、規制として扱うとなれば、余計に業務が煩雑となり、顧客要求項目の増加に繋がるものと懸念する。

規制候補物質、がどういった法規制を想定されているかです。（chemSHERPAがどこまで手広く取り扱うか。）

例えば、SVHCの候補物質、毒劇物の候補物質（審議物質）、拡大安衛法の表示通知対象物質の候補物質、、、①の任意報告物質としての報告は、任意といいながら強制される感じがあり、そぐわないと思われる。②は規制候補物質は、そのエクセルが添付されて調査依頼が来ることになると思われる。そう考えると対応が難しいですね。むしろ、**すべてをchemSHERPAで対応しないといけないのか**、という意見です。

個社様式で調査を行う会社は発表から即調査を行う傾向があるため、chemSHERPAでどのような対策が取られても、その意識改革がなされない限り、改善されないと思います。

①は、「任意報告」と銘打って顧客ごとの個別要求が拡大するおそれありと感じる。

②は、書式の統一（個社様式の低減）には一定の効果がありそうだが、結局のところどこまで認知・利用されるかにかかっている。

任意報告物質では、報告が無くても調べたとみなしていいのかわからない。

任意報告物質で報告するルールにすると、**顧客から任意報告物質に『パブコメ段階でのSVHC候補物質など』の必須要求が来るようになるのは目に見えているので、対応方法を考えなくてよい形で実施してほしい。**

規制候補物質を特定して、chemSHERPAで報告できるようにしていただけるのは、有益と考えます。chemSHERPAデータ中において、規制候補物質が成分情報に記載されていない場合に、**非含有が規制候補物質は報告対象外としているのかを見分けることができるようにする必要があります**と考えます。

現在同様に候補物質の情報のみ掲載で十分。AI/CIで候補物質の回答をすることは避けたい。確定しなかった場合、**含有物質を開示することになってしまう。**

パブコメ段階で報告しても、**決定した段階で再度報告を求められるケースが多い**です。2度手間になる恐れがあるため、弊社ではパブコメ段階での回答はしていません。

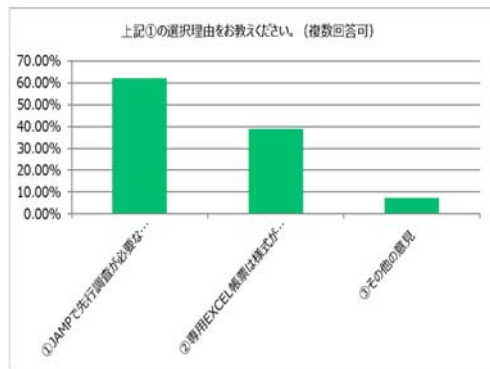
21

候補物質の収載への暫定策はどれが適切か

①規制候補物質を『chemSHERPAホームページで公開し、成分情報の任意報告物質で報告してもらう』を選択した理由

Answer Choices	Responses	
①JAMPで先行調査が必要な物質のみ公開してもらえば十分	62.32%	726
②専用EXCEL帳票は様式が増えるだけで、個社様式は無くならない	39.06%	455
③その他の意見	7.38%	86
	Answered	1165
	Skipped	2007

	その他の意見から（回答数 86件中の主な意見を取りまとめ）	件数
1	顧客の要求により、任意報告物質として回答報告が必要	13
2	任意報告の方が運用が柔軟にできる	12
3	SVHCに関しては候補物質の確定を待ちchemSHERPAで対応	9
4	専用EXCEL帳票の使用は調査ツールが増えるだけ	7
5	規制・物質が情報公開され、同時に簡便な説明があれば有益	4



ピックアップコメント（抜粋あり、原文のまま）

chemSHERPAツール(物質リスト含め)の更新リリースに時間がかかるので、上市前にSCIP登録が必要に成るので個別の先行調査が発生、任意報告物質であってもchemSHERPAで調査報告が出来るのであれば工数削減・時間短縮も図れると期待

候補(案)となっただけで調査・不含有保証を求めるのは行き過ぎており、調査対応する労力が増えてしまうため、企業側に自制を求めている

EUでは、上市前にSCIP登録が必須である為、chemSHERPAの更新は迅速に願いたい

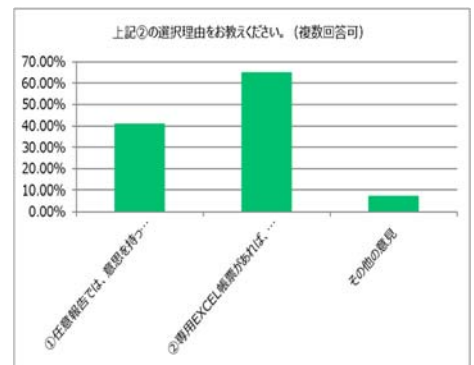
22

候補物質の収載への暫定策はどれが適切か

②規制候補物質が記載された『専用EXCEL帳票をchemSHERPA ホームページで公開し利用してもらう』を選択した理由

Answer Choices	Responses	
①任意報告では、意思を持って非含有であることが確認できない	41.05%	454
②専用EXCEL帳票があれば、予め準備をしておき、要望のある顧客に提供できる	65.19%	721
その他の意見	7.59%	84
	Answered	1106
	Skipped	2066

その他の意見から（回答数 84件中の主な意見を取りまとめ）		件数
1	EXCELツールの方が提出された情報の確認や利用がしやすい	15
2	個社要求(オリジナル調査表)の削減も期待できる	14
3	個社ツールの削減につながるのか疑問(川下企業の要求しだい)	14
4	SVHC確定まで時間がかかり、Excel帳票が作成されても利用は限定的	6
5	任意報告では、報告内容の正確性が判断できないから	5



ピックアップコメント（抜粋あり、原文のまま）	
SVHCや各国の法令に対してchemSHERPAの対応スピードに課題が見える、迅速性を持たせるExcel帳票に期待したい。	
現時点においてもサプライチェーン企業においてはchemSHERPAの理解度が低く、提出を依頼しても対応がとても難しい・確からしさに課題がある、そのため自前で関連帳票を作って、川上企業様に記入してもらっている。 もし、今後JAMPにおいて中小企業が使えるような分かりやすい様式を提供して頂けるなら、とてもありがたい。	
専用EXCELがあることで今までなかった企業からの事前調査が増える。	

23

5. リサイクル材の使用状況について

JAMPの中長期目標の1つ「循環型社会への貢献」のテーマとしてリサイクル材の使用状況を問う質問。
全体的に使用が10~20%程度と低い回答であるが、より明確な質問に変えながら、継続的に調査したい。

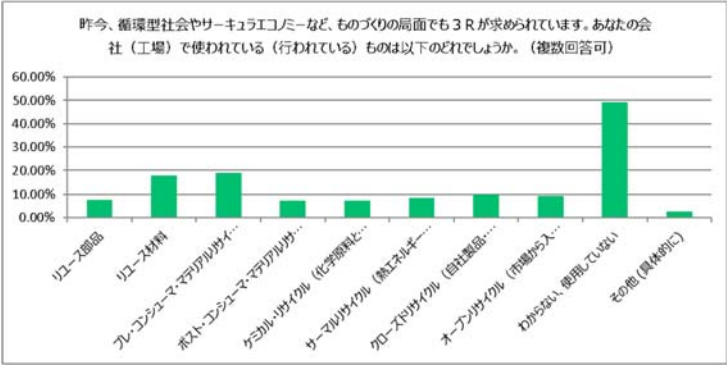
24

リサイクル材の活用状況について

昨今、循環型社会やサーキュラエコノミーなど、ものづくりの局面でも3Rが求められています。
あなたの会社（工場）で使われている（行われている）ものは以下のどれでしょうか。（複数回答可）

リサイクル材の使用状況を問う質問
JAMPの中長期目標である
「循環型社会への貢献」に向けての
現状把握を行う目的。

Answer Choices	Responses
リユース部品	7.60% 229
リユース材料	17.68% 533
プレ・コンシューマ・マテリアルリサイクル（製造工程で発生した材料）	18.97% 572
ポスト・コンシューマ・マテリアルリサイクル（製品を使用した後に回収した材料）	7.30% 220
ケミカル・リサイクル（化学原料としての再利用）	7.23% 218
サーマルリサイクル（熱エネルギーとしての回収）	8.49% 256
クローズドリサイクル（自社製品・部品材のリサイクル品利用）	10.05% 303
オープンリサイクル（市場から入手の製品・部品材のリサイクル品利用）	9.35% 282
わからない、使用していない	49.35% 1488
その他（具体的に）	2.69% 81
	Answered 3015
	Skipped 157



リユース材料と工程内材料リサイクルが20%弱とやや多いが、その他は10%程度。

わからない、使用していないが50%あり、どちらか不明。（設問不備）

リサイクル材に否定的な意見と、サプライチェーンでの浸透度の低さがうかがえる

25

リサイクル材の活用状況について

先の分類に含まれないリサイクル、その他意見

	その他（具体的に）（回答数 81）	件数
1	紙、段ボール、梱包材、緩衝材、輸送梱包など	18
2	廃棄物の分別、有価物の業者への引き渡しなど	15
2	リサイクルに対する意見（次ページ）	15
4	節電、省エネ、再エネの活用など	4
5	洗剤、洗浄溶剤でのリサイクル活用	3
6	雨水利用、水循環など	2
	その他	14

製品本体でなく、梱包材や段ボールでのリユース、リサイクルが現実的との意見がある

また、廃棄物をリサイクル業者に引き渡すことで3R貢献との見方もある

3Rを大きく捉え、水や洗浄剤の再利用、省エネなどの回答もあり

その他の内訳
鉄板加工の業種ですので基本的にはほぼ100%リサイクルしています。
電池規制の要求事項への対応
チェック項目（実装基板の再使用）のみ私が知る範囲です。
余剰在庫部材の活用（EOLとなった部材も多く、環境データ収集に苦労しますが）
金属加工の切り粉のリサイクル
新規案件での取り組みの際、ハイサイクル化・軽量化・減容化への取り組みを検討している。
リデュース。モノづくりのデジタル化、DNC化推進による加工不良製品破棄削減。
リユース燃料（再生油を熱源として利用）
上記ケミカル・リサイクルやサーマルリサイクルは、主に廃棄プラスチック（製品にならなかったものや端材等）のリサイクルです。
バイオマス原料（脱石油依存）
一部プレ・コンシューマ・マテリアルリサイクル
ムダの排除に徹底しています
アルミニウムの二次精錬（鋳物用アルミニウム合金地金 ダイカスト用アルミニウム合金地金の製造）
パッケージの簡素化やプラスチック材料の削減

26

リサイクル材の活用状況について

リサイクル材に対する他意見

リサイクルに対する意見（15件）
3 Rに係る材料を製造に使用できる形態に加工するのに、余分なエネルギーや資源をしようすることを直視しないで、循環型社会やサーキュエコノミーなどと、耳障りの良い言葉を並べてても意味がない。長いものに巻かれ、今だけ商品が売れば良いようなことに繋がる活動には個人的には賛同しない。
我々のようなところは基本バージン材料の使用を前提です。成型等で失敗したものやランナー残材等を再利用はありますが、材料レベルでリユースは禁止しています。リユースにより様々な保証ができなくなるからです。
化学品事業では、容器としてステンレス製リースドラム、再生ドラムを、原料として再生溶剤を一部採用している。コンタミの可能性を完全に排除できない点で、含有化学物質管理とは相反する。
プラスチック容器製造時のバリ材の再利用においても、RoHS規制物質の非含有の証明及び管理マニュアルの提示を求められた例があり、零細の容器メーカーが回答に困った例がありました。業界指針があると回答と実際の取り組みがしやすいと思いますので、ご検討いただければと思います。
弊社は、プリント基板のメーカーです。基板に使用する材料には、リサイクル材は使用されていません。基板の場合は、エポキシ樹脂ベース(熱硬化樹脂)なので、基本的にリサイクルは困難。顧客からの環境品質チェックシートでリサイクル材の使用についての項目があります。やはりリサイクルによって、法規制に抵触する物質の混入を防げるのか、管理できるのかなどが課題としてあると思います。
当社は製造業とともに産業廃棄物処分業を営んでおり、事業そのものが3 Rである。
工程変更につながるので基本的に行っていない。
精密機器などではリサイクル品を使用したことでトラブルになることが怖い。
金属材料は必然的にリサイクル品が含まれるのではないかと考える。有機材料について、ポストコンシューマリサイクル品は使いたくない。コンタミの懸念が捨てきれない。
零細企業で材料使用量が少なく純度も求められるため、3 R関連は成分純度、コスト、購入ロットなどの面で採用できていない。
製品寿命を延ばし、再資源のタイミングを伸ばしている。（期待寿命が10年あれば他社の寿命3年の製品を4回買わずに済む）
取り扱う製品上、部材、梱包材ともにバージン材で対応しており、一部の緩衝材を除き、リサイクルは原則しておりません。過去、プラスチックのリサイクル材を使用しましたが、含有物質調査の際に、厳密な管理が困難であると分かった為、今後も取り扱う事はまずないと思われます。踊らされるのもほどほどに。
今はリサイクル品は極力使わない方向でやっている。リサイクル品を使うと環境物質調査で一発アウトになるから。でもこれって変。社会の流れはリサイクルを使う方向にも動いているのに。対処してほしい。
製品の性質上、再生品等の利用は困難

顧客対応として、含有化学物質管理中心にならざるを得ず、リサイクル材は使わないとの意見が多い。

6. 自由意見

自由意見（分類を経年で比較）

【自由意見欄】 chemSHERPAの普及に関する要望、情報伝達の問題などご意見をお願いします。

	主な意見集約（回答数 690）	2019	2020	2021	2022.7
1	入力支援ツールの要望（CI→AI変換ツール、EXCEL簡易入出力など）	198	99	193	108
2	SVHC公開からツールリリースまでの期間短縮、物質リスト更新頻度、候補物質の収載	40	26	75	71
3	中小企業への周知、JAMPの企業への指導、国の支援など	49	42	69	71
4	海外メーカーからのchemSHERPAが入手できない。国際普及・国際標準化が重要	53	31	52	47
5	知識が低い、教育を充実してほしい（無料セミナー、マニュアル充実など）	68	59	60	45
6	工数負荷やコスト負担に関する苦情	51	77	50	44
7	独自調査票、分析データ、重複する不使用証明書など、負荷になっている	39	39	46	44
8	自動車業界との互換を望む（IMDS、JAMAシート、全成分）	21	23	32	34
9	独自要求の禁止は川下企業に強く依頼したい	17	14	46	16
10	SCIPについての要望		17	13	8
11	半角英数化に対する要望				8
12	リサイクルに関する要望、意見				6

- ①自由意見では、ツールへの要望が多い。ビューアーへの要望もあり（14件）。
製品名・部品名の半角英数化に対する要望は前回より低減した（21件→8件）
- ②ツールリリースの早期化や候補物質の収載を求める声、一方、更新頻度を1回／年との声あり。
- ③中小企業への認知度向上・優遇、JAMPの企業への指導、国の支援などを求める声あり。
- ④相変わらず、教育のニーズは高く、判りやすいマニュアル、動画などのニーズもあり。
- ⑤海外メーカーから入手困難、国際標準化を求める声あり。
- ⑥リサイクルに対する、要望意見も若干あり。

29

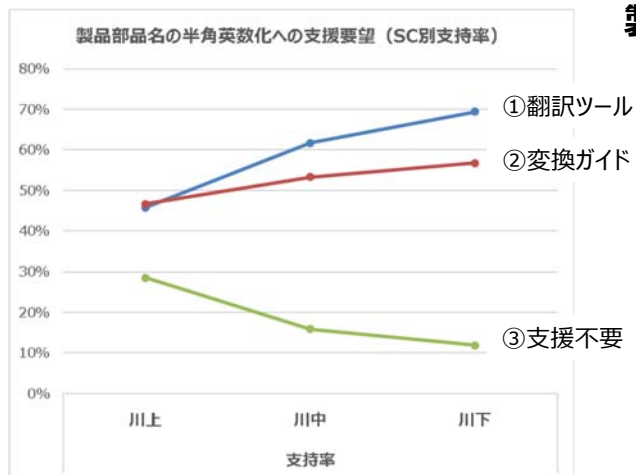
Appendix

JMAP会員集計

- ・製品部品名の半角英数化への支援要望
- ・個社様式削減事例ページの有効性
- ・候補予定物質への暫定対応策

30

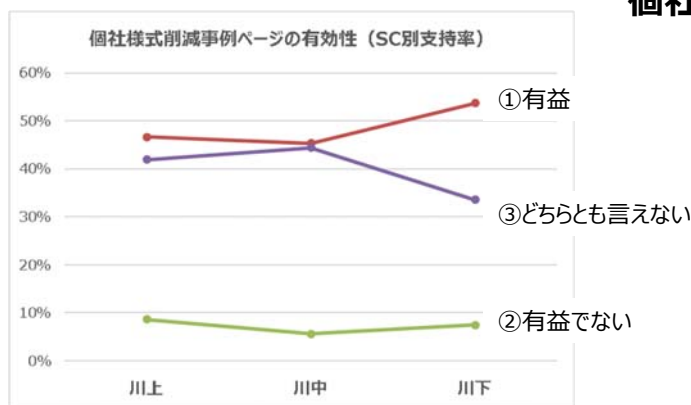
JAMP会員 SC別支持率分析（1/2）



製品部品名の半角英数化への支援要望

	支持率			
	全体	川上	川中	川下
①過去データの翻訳ツール提供	60%	46%	62%	69%
②変換ガイドラインの提供	53%	47%	53%	57%
③支援不要	18%	29%	16%	12%

翻訳ツールと変換ガイドの支援は、川下企業ほど要望が多い。



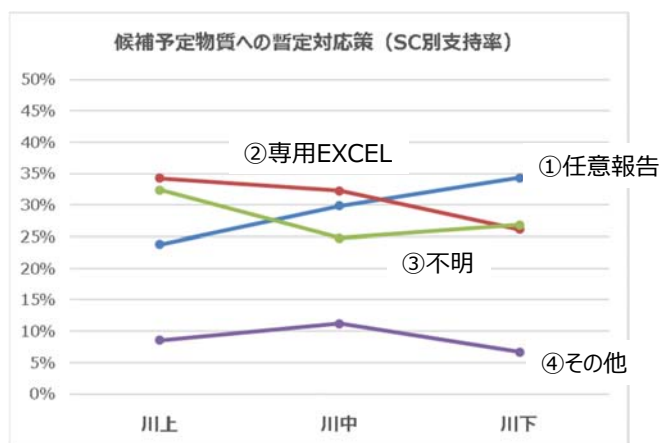
個社様式削減事例ページの有効性

	支持率			
	全体	川上	川中	川下
①有益	48%	47%	45%	54%
②有益でない	7%	9%	6%	7%
③どちらとも言えない	41%	42%	44%	34%

川下企業ほど、個社様式削減ページの効果を認識。しかしながら、どちらとも言えないが、川上、川中企業で同率で存在する。

31

JAMP会員 SC別支持率分析（2/2）



候補予定物質への暫定対応策

	支持率			
	全体	川上	川中	川下
①任意報告物質で良い	30%	24%	30%	34%
②専用EXCELが欲しい	31%	34%	32%	26%
③わからない	27%	32%	25%	27%
④その他	9%	9%	11%	7%

川下企業ほど任意報告対応、川上企業ほど、専用EXCELの傾向がある。この結果では、どちらかの選択は出来ない。

32



1. 著作権

・本資料の著作権は、発行者であるアーティクルマネジメント推進協議会(JAMP)に帰属し、本書の無断での複製、転載などは著作権法上の例外を除き、禁じられています。本書に記載されている文章、図表などを複製、転載などされる場合は、事前に発行者の許諾を得てください。

2. 責任の制限

・本資料は、記載された情報の利用にあたっては各自の判断に基づき行うものとし、作成者・著作者はそれによって生じた一切の損害については責任を負いかねます。